

3種混合ワクチン(DTaP)の説明書

商品名:トリビック

■ 予防できる病気

破傷風: 筋肉のけいれんを引き起こします。時に呼吸筋がけいれんし窒息します。

ジフテリア: 毒素が心臓や神経に作用し、心不全や麻痺を起こします。

百日咳: 特有のけいれん性咳発作を特徴とする急性気道感染症です。乳幼児での死亡率が高く、米国では全ての妊婦にワクチン接種を推奨しています。

■ 流行地域と感染経路

- ・破傷風菌は世界中の土壤に生息しており、外傷や動物咬傷で感染します。
- ・百日咳菌も先進国(日本を含む)、途上国に関わらず流行しています。

■ 診断と治療

- ・破傷風はもっぱら症状から臨床的に診断します。
- ・百日咳は、核酸検出(LAMP法)や抗原検査、抗体上昇や培養検査での診断です。
- ・治療は破傷風ワクチン接種やグロブリン投与、抗菌薬の内服です。

■ 予防方法

ワクチンを接種する。

■ ワクチン接種対象者

- ・破傷風ワクチン接種後、10年以上経過した方および未接種者全員が対象です。
- ・1968年以前に生まれた方は破傷風ワクチンの3回接種を推奨します。
- ・破傷風ワクチン3回接種のうちの1回、または破傷風1回分の追加接種について、ジフテリアと百日咳までカバーするトリビック(DTaP)もしくはBoostrix(Tdap)で接種することをお勧めします。

■ ワクチンについて

- ・3種混合ワクチン(DTaPと略す)は国内承認ワクチンです。
- ・輸入国内未承認ワクチンBoostrix(Tdap)も取り扱いがあります。

	トリビック(国内ワクチン)
【製造会社】	阪大微生物病研究会(BIKEN)
【適応年齢】	生後3か月以上(定期接種時)
【接種回数】	1回。
【接種方法】	皮下注射。
【持続期間】	破傷風は10年間。
【追加接種】	10年毎の接種を推奨します。

■ 副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■ 注意事項

過去に同ワクチンにアレルギー反応のある方、発熱している方は接種できません。妊娠・授乳中の方には乳幼児の百日咳予防を考慮し、接種を推奨します。

■ 健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。

発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。